

春のまちづくり懇談会



佐々木学町長の町政3期目がスタートし、5月18日から29日にかけて「まちづくり懇談会」が町内4会場で5回行われ、町長が掲げる政策目標などの説明がありました。その後、地域から出された質問に、町長が答え、情報交換・意見交換を行いました。

原油不足に伴うごみ袋の影響について

質疑 ナフサ不足による影響でプラスチック製品が不足している。ゴミ袋の不足が報道されているが、本町は大丈夫なのか。

回答 本町は現在のところゴミ袋は確保できており、別の袋を使用することや、ごみ袋の価格を上げるといったようなことは考えていない。

小中一体型の義務教育について

質疑 来年、3小学校が一つになるが、小学校と中学校が一体になった義務教育学校は、いつ頃できるのか。

回答 校舎については、新築・大規模改修・長寿命化の3通りの整備方法が考えられる。今年は、栗山小学校の建物の状況を把握するための劣化度調査を行い、その結果を踏まえ、検討委員会では整備方法を検討していく予定。子どもたちの教育環境と、町の財政をしっかりと考え結論を出したい。

小学校統合後の避難所について

質疑 角田小学校と継立小学校が統合されると避難所はどうなるのか。普段使わなくなる小学校を避難所にするとなると暖房などの不安がある。

しまうのはおかしくないか。

回答 法律に基づいて使用期限を6カ月としていく。以前のくりやまギフトカードも、同様の6カ月間だった。ご自身の使い方に合わせて現金をチャージしていただきたい。

持続可能な財政基盤について

質疑 若い人に安定した財政基盤を残さなければならぬので、町民にももう少し負担をかけてもいいと思っている。町営バスも料金収入だけでは賄えず、8000万円を持ち出しての状況。サービスを増やしていったら財政が持たないのではないか。

回答 事業に取り組み時には、取捨選択し必要だというものがあれば、町の貯金を取り崩してでもやらなければならない。現在の町の財政状況は、そこまで切羽詰まった段階ではない

回答 統合後の校舎の活用については、皆さんの避難する場所がなくならないことを前提として今後検討していく。

コミュニティ活性化の予算について

質疑 現在、町内会活動においては財政面で大変厳しい状況の中で運営している。コミュニティ活動が活性化するような町内会・自治会への助成事業を考えてもらえるとうれしい。

回答 まちづくりの面からも町内会・自治会におけるコミュニティ活動の活性化はとても重要だと認識している。町では地域コミュニティの将来を見据え、まちづくり協議会への支援を



が、持続可能な行財政基盤を次の世代に残すことが我々の責任だと思っております。今後、人口減少に伴い、公共施設や福祉のサービスの統合など、事業を縮小せざるを得ない時が来ると思っております。

に对面での支払いも残していただきたい。

回答 窓口のキャッシュレス化は来年の4月開始を目指しており、現金の取り扱いは残す。クレジットカードやQRコードでの支払いができるよう進めていく。

質疑 OA化が進むのは良いと思うが、全部機械でなくてキャッシュレスの他

行っている。今後は、町内会・自治会の再編なども視野に工夫の余地があると考えているので検討したい。

役場窓口のキャッシュレス化



ポジポにチャージした電子マネーの使用期限について

質疑 現金でチャージしたのに6カ月で失効されて

回答 現在、公営住宅の空きは43戸。建て替えに伴い政策的に空けているところもある。今後、建て替える公営住宅の入居者には今空いている所に転居いただくことも考えている。収入制限については、公営住宅は生活困窮者の方々に対する住居ということで、認識いただきたい。また、1階の希望が多く2階以上の階層に空きが出やすい。

各会場の議事録は町ホームページで閲覧できます ↓

